



15 陸の豊かさも
守ろう



「いのちの森」苗木・つる植物の育て方



SDGs未来都市としま



豊島区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



「いのちの森」について



都市の限られたスペースを有効活用して緑を増やし、豊島区が緑豊かな環境都市になることを目指す「グリーンとしま」再生プロジェクトの一環として、「いのちの森」づくりに取り組んでいます。森をつくるには、長い時間、広大な土地や手間ひまが必要に思われますが、「いのちの森」の手法は、土地本来の植生を重視して多種の樹種を混ぜる植樹に始まり、育成も極力人の手をかけずそれぞれの樹木の生命力にまかせることを基本としています。

お配りする木は「いのちの森」に植樹するものと同じ種類の木です。皆さんのお家でも「いのちの森」を育ててください。なお、アセビ、サツキ、センリョウ、ツツジ、マンリョウについては、豊島区のホームページ まちづくり・環境・産業>自然・エネルギー>緑化>[「誕生記念樹を贈ります」](#) ページの下部「苗木の管理方法」に詳しい育て方を掲載しています。参考にしてください。

豊島区 環境清掃部 環境政策課

樹 名	特 徴	育 て 方
アオキ (低木)	葉も枝も緑色なので「アオキ」。雄雌異株の常緑樹。雌株には、光沢のある朱色の実がつく。あまり大きくなりず、病害虫も少なく、場所を選ばず育つ。樹高は地植えでは1m～3m程度。	環境：有機質に富むやや湿り気のある土が適す。直射日光や西日を避けること。明るい日陰を好む。 水やり・肥料：地植えは水やり不要。鉢植えは春から秋の生育期にはたっぷり水を与える。冬の間は乾きにくいので水やり回数を少なめにする。肥料は不要。 注意点：乾燥に弱い。直射日光で葉焼けを起こす。実を楽しむには雄雌両方の株が必要。
アセビ (低木)	早春にスズランのようなツボ形の花が房状にたくさん咲く常緑樹。新芽はやわらかな光沢のある赤色。環境に対する適応力が高い。生長はゆっくり。樹高は地植えでは1m～4m程度。	環境：水はけのよい半日陰の適湿地を好む。暑さや乾燥が苦手なので西日が当たる場所は避ける。 水やり・肥料：乾燥は生育や花付きに大きく影響する。肥料は春は多めに、秋は控えめに与える。 注意点：実をつけると株が消耗し翌年の花付きが悪くなるので花後すぐに花穂を付け根から切り取るとよい。大きくしたくない場合は、花後、6月までに枝分かれした部分や小枝の出ている場所で切り詰める。
ウラジロガシ (高木)	カシの木の一つでどんぐりのなる木。丈夫で育てやすい常緑樹。葉に薬効があるため茶葉や入浴剤として利用されることがある。樹高は地植えでは20m程度になる。	環境：乾燥、病害虫には強く、耐陰性もある。半日陰程度の場所であれば問題なく育つ。 水やり・肥料：地植えは水やり不要。肥料は最初に緩効性の有機肥料を少量与え、葉の色がきれいな深緑色でない場合は、追加で油カスなどを与える。 注意点：生長がはやく、あまり大きく育てほしくない場合は、暖かい時期に剪定を行う。
クチナシ (低木)	常緑樹。梅雨の中ごろから終わりに甘い香りの白い花が咲く。花後に果実ができ、着色料として利用される。葉は光沢のある深緑色。若葉のころは黄緑色。樹高は地植えで50cm～3m程度。	環境：日当たりと水はけの良い場所を好む。乾燥と寒さに弱い。日当たりが悪いと花付きが悪い。 水やり・肥料：乾燥に弱いので、庭植え、鉢植え、どちらでも、土の表面が乾いていたらたっぷりと与える。肥料は2月と8月に化成肥料と油かすを等量混ぜたものを株元に施す。 注意点：夏は直射日光は避け、それ以外の季節は日当たりのよい場所を選ぶ。冬の寒風に非常に弱い。

樹 名	特 徴	育て方
サツキ (低木)	ツツジ属の総称である「ツツジ」の中の「サツキ」の野生種。暑さ、寒さに強い常緑樹。 5月中旬～6月中旬に開花する。 樹高は地植えで50cm～150cm程度。	環境：水はけと風通しが良い日向を好む。鉢植えは夏には半日陰に置き、冬は乾燥した風に当てないこと。 水やり・肥料：地植えはひどく乾かない限り水やり不要、鉢植えは、夏は朝と夕方、春と秋は1日～2日に1回、冬は土の表面が乾いたらたっぷり。花に水がかからないように。肥料は冬に油かすを株の周りに与える。 注意点：剪定は、開花後、早い時期の6月までに。夏以降だと翌年咲かない。
センリョウ (低木)	花の少ない冬に美しい実をつけるセンリョウはお正月の縁起木のひとつ。暑さに強く育てやすい常緑樹。 地際からたくさんの枝を出し、枝分かれせずにまっすぐ伸びる。樹高は地植えで70cm～1m程度。	環境：1日数時間日が当たるような有機質に富んだ土を好む。乾燥に弱い。西日や直射日光は避けること。 水やり・肥料：地植えは根付けば水やり不要。鉢植えは、春から秋の生育期には、土の表面が乾いたらたっぷりと水を与える。肥料をたくさん与えるよりも腐葉土を株周りに混ぜ込む方が効果的。 注意点：枝が茂りすぎたら12～1月に実がついている枝を根元で切り、若い枝を残す。
ツツジ (低木)	「豊島区の花」 暑さ、寒さに強く、真夏日でも生育は衰えない。 -10℃でも影響を受けない強い木。 樹高は地植えで50cm～2m程度。	環境：水はけと風通しが良い日向を好む。ピートモス、鹿沼土などを混合し酸性土壌にするとよい。 水やり・肥料：乾燥に弱いので、地植えなら夏の乾燥時、鉢植えなら土が乾く前に水をあげる。肥料は花の後と秋に化成肥料、冬に油かすと骨粉を根から離れた場所に与える。 注意点：地植えする場合は浅く植える。剪定は開花後、6月までに。夏以降に剪定すると翌年咲かない。
ネズミモチ (中木)	芽吹く力が強く大気汚染にも強い常緑樹。幹は灰褐色で細かい枝がたくさんでて生垣などに向く。6月頃ラッパ状の白い花がたくさん咲く。晩秋に黒紫の実がなる。樹高は地植えでは4m～7m程度。	環境：日当たりを好むが耐陰性もある。粘土質でやや重く湿潤な土壌が適す。乾燥地はあまり好まない。 水やり・肥料：春から秋の生育期には土が乾いたら水をたっぷり与える。肥料は3月ごろ株元に化成肥料を多少与えれば充分。 注意点：乾燥に弱い。芽吹く力がとても強いので1年に2～4回を目安に刈り込んで樹形を整える。
ヒサキ (中木)	耐暑性、耐寒性があり、育てやすい常緑樹。3月から4月に独自の香りを放つ小さな花が咲く。実は10月頃黒紫色に熟す。樹高は地植えで10mになるものもあるが成長がゆっくりで2～3m程度が多い。	環境：半日陰が適すが場所を選ばない。耐陰性が強い。有機質のたっぷり入った湿り気のある用土を好む。 水やり・肥料：地植えは水やり不要。鉢植えは土の表面が乾いたらたっぷりと与える。肥料は冬に追肥や油かすを少量与える。 注意点：「ホタルガ」という害虫が付しやすい。分泌液に毒があり触ると炎症を起こすので注意が必要。
マンリョウ (低木)	花は初夏、実は秋から冬にかけて小さな赤い実が枝にぶら下がるようにたくさんつく。常緑樹。 正月の縁起木として親しまれている。 樹高は地植えで30cm～1m程度。	環境：適度に湿って水はけと風通しの良い半日陰で育てる。寒さに弱いので寒風や霜にあてないように。 水やり・肥料：乾燥を嫌うので、土の表面が乾いたらたっぷりと水を与える。肥料は控えめに。 注意点：乾燥に弱い。西日や直射日光は避けること。古い枝葉を落としながら上に伸びていくので、4～5年に1回、3月から4月にバランスを整えるため剪定する。鉢植えは2年に1回を目安に植え替える。

※お持ち帰りになりましたら、なるべく早く植え替えて、
お水をたっぷりあげてください。



低木は、風通しが悪い場所に植えるとカイガラムシが発生する可能性があります。
発見次第ブラシなどでこすり落とし、数が多い場合は、薬剤散布を推奨します。

つる植物

- 仕立て方：フェンスに絡ませて面的なみどりに仕立てる。また鉢に植え、行灯型の支柱や格子状のネットに絡ませる。
- 水やり：生育期は、土の表面が乾いたら水やりを行う。越冬中の水やりは控えめにする。
- 施肥：つるものには生長の旺盛な種が多く、一般に肥沃な土壌を好むので、堆肥などの有機質を元肥として与えると良い。生長期には追肥を施す。
- 剪定：つるものは支持物を越えて他の庭木などにかからむ場合があるため、適宜誘引してやるほか、剪定によって生長を抑えることができる。これにより開花を促進する効果もある。また、つるの先端を摘むことでわき芽を出し、面的な広がりには仕立てることができる。剪定は萌芽前がよい。

—栽培と管理—

種 類 (科 名)	特 徴 と 性 質
アイビー	全体の特徴：耐寒性・耐暑性に優れた常緑つる性低木。（花なし）斑入りものなど品種も数多い。 性質：日なたでも日陰でもよく育つ。登はんでも下垂でも壁面を緑化できる。
カロライナジャスミン	全体の特徴：対生全縁の常緑木本のつる性花木。4月～7月にかけて順次トランペット型の黄色い花が株いっぱい咲く。 性質：性質は強健で、耐寒性も比較的あり、－3℃程度のところでは越冬する。日当たりがよいと花つきがよい。
ツルニチニチソウ	全体の特徴：茎は最初直立したあと、地面を這うように伸びるのでグラウンドカバーや、吊鉢等にも適している。 性質：性質は強健。
トケイソウ	全体の特徴：掌状で5～9深裂した葉が互生する、常緑木本のつる性花木。花の形が時計の文字盤に見えるので日本では「時計草」。 性質：やや耐寒性が弱い。
ハゴロモジャスミン	全体の特徴：葉は長さ5～10cmの羽状複葉で、常緑木本のつる性花木。3月～6月にかけて芳香のある白い花がたくさんつく。 性質：比較的耐寒性があるが、なるべく日光にあてる。
フィカスブミラ	全体の特徴：常緑つる性低木。よじ登る力が強く、気根はコンクリートの壁や石垣などにも張り付くので壁面緑化などに利用可能。 性質：強健。日当たりを好む。水切れに注意。